

SSH探究部

授業改善のための工夫の見せどころシート

教科 _____ 氏名 _____

本時の見せどころは・・・

授業実施日：令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

視点		記述欄		
科目名		○○○○		
出入口	1 生徒	①所属 ○○科○年○組 ②人数 ○○人(男子○人、女子○人) ③特徴・ニーズ ○○○・・・・		
	2 授業の位置づけ	以前学んでいたことで、知らないと困ることは何ですか ○○○・・・・ 次にどこで使いますか ○○○・・・・		
方法・内容	3 本時の内容と具体的方法 (C/Eの問い、指導方法、展開)	①題材 ○○○・・・・ ②C/Eの問い 「○○○・・・・？」 ③単元計画 (1)・・・・ (2)・・・・ (3)・・・・(本時) (4)・・・・ ④方法 <input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> 実演 <input type="checkbox"/> 実習 ⑤ICT <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> タブレット <input type="checkbox"/> _____ ○○○・・・・、○○○・・・・		
	4 教員の評価の方法	①ICEに当てはめると？ <input type="checkbox"/> Extensions (応用、活用)： ○○○・・・・ <input type="checkbox"/> Connections (既知の知識・概念や他領域とのリンク)？ ○○○・・・・ <input type="checkbox"/> Ideas (知識、技能の習得)： ○○○・・・・ ②方法 <input type="checkbox"/> 小テスト、 <input type="checkbox"/> 定期考査、 <input type="checkbox"/> レポート、 <input type="checkbox"/> シート提出、 <input type="checkbox"/> 実技テスト (○○○・・・・<具体的な特徴があれば記述する>)		
出口・評価	5 科目や学校全体の教育目標との一致	みつめる力 ☆☆☆	きわめる力 ☆☆☆	つなげる力 ☆☆☆
	6 リフレクションの方法	○○○・・・・		
生徒の自己評価	7 ICEモデルに当てはめると	<input type="checkbox"/> Extensions (応用、活用)： ○○○・・・・できたか？ <input type="checkbox"/> Connections (既知の知識・概念や他領域とのリンク)： ○○○・・・・できたか？ <input type="checkbox"/> Ideas (知識、技能の習得)： ○○○・・・・できたか？		
	8 この授業での振り返り 教員のリフレクション	○○○・・・・		
継続	9 工夫の根拠 IDモデルに当てはめると？	○○○・・・・		

この黒吹き出しは消さないでください。5の☆と対応して強調した記述をしてください。

IDでは「入口」と「出口」のギャップを埋めるという考え方をします。

この部分での「以前学んでいたことで、知らないと困ることは何ですか」は「この授業を受ける前の時点で、何をやってきていて、何を知っているのか。何が出来るのか。学んだ何が、どう使われるのか。何が必要なのか。」ということを書いてください。

「次にどこで使いますか」は、「この授業で学んだことを、次にどこで使いますか。」ということを書いてください。

必ず書いてください。「見せどころ設計マニュアル」P40,41を参考にご記入ください。

単元を貫く問いなので、見やすいようにくっつけました。小単元の時間数に合わせて表現してください。

また、この授業を(本時)として表示してください。複数時間配当の場合、1/2(2時間配当の内の1時間目)のように表現してください。

視覚的な効果を踏まえ、Eの問いから自然に考えていけるようにE→C→Iの順に変えています。ご注意ください。

重きを置いているところの☆を★としてください。(イメージは「見方・考え方」ひらがなで「ほし」と入力すると出てきます。右上の吹き出しに、その理由を記述してください。

○「生徒の振り返り」ですので、「～できたか？」の表現にし、その項目を生徒に評価させてください。

○評価させる時は、「～できたか？」の表現に加え、「どれくらい出来たのか、根拠を示し説明しましょう。」の項目を付けて生徒に評価させると、評価の根拠となる記述となります。

「ID:インストラクショナル・デザイン入門」(見せどころ設計マニュアルp67)や参考文献として紹介している本「インストラクショナルデザインの道具箱101」などを御覧ください。「メリルの第一原理」や「ガニエの9教授事象」、「ARCSモデル」から適用してみたいかがでしょうか？

※日本教育工学会FDセミナー「大学授業設計の点検ワークシート」(2015)に、IDモデル用いた分析及び改善案の検討を追加されたものをもとに、熊本県立第二高等学校版として作成。